令和元年度（２０１９年度）シラバス　　熊本県立南稜高等学校

教科・科目	福祉・介護福祉基礎	単位数	２単位
対象学科・学年	普通科福祉コース・２年		
使用教科書・副教材	介護福祉基礎（実教出版）・介護職員初任者研修テキスト（ミネルヴァ書房）		

１　教科目標

社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を総合的、体験的に習得させ、社会福祉の理念と意義を理解させるとともに、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の増進に寄与する創造的な能力と実践的な態度を育てる。

２　科目目標

介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割を理解し、介護を適切に行う能力と態度を身につける。

３　評価の観点

a	b	c	d
・介護に関する諸問題について関心をもち、よりよい介護を目指して意欲的に取り組むとともに創造的、実践的な態度を身に付けている。	・介護に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、介護活動の現状について多面的・多角的に考察している。 ・介護活動を計画し、実際に援助することができる。	・高齢者や障害者に対する基礎的・基本的な介護技術を身に付けている。	・高齢者や障害者に対して介護に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、介護の意義や役割を理解している。
・興味、関心を持って授業に参加する ・ワークシートに適切に記録し、提出する。 ・忘れ物をしない。	・考えをまとめ、適切に記述したり、発表することができる。	・介護福祉に関する知識や技術を活用できる。	・学習内容を理解し知識を身につけている。

４　評価の方法

定期考査の得点、授業や実習の態度、実技テスト、提出物の状況などから、総合的に評価する。

5　学習計画・学習内容

学期	月	学習単元	学習内容	考査範囲
1学期		尊厳を支える介護 １．その人らしく・尊厳・基本的人権 ２．高齢者の人格と尊厳 ３．障害のある人の人格と尊厳 ４．利用者本位の介護サービス 介護従事者の倫理 １．尊厳・プライバシー保護 ２．専門性と基本姿勢 ３．介護従事者として踏まえるべき倫理	・介護が必要な人とはどのような人か、尊厳とはどのようなことか理解し、尊厳を守るために必要な考え方や態度について学ぶ。 ・介護従事者として必要な倫理観と、それに基づく態度について理解する。	中間考査 期末考査
2学期		介護と環境 １．生活環境を整えること ２．高齢者の生活と住まい ３．障害者と住まい ４．福祉用具の活用 介護サービスの概要 １．介護サービスの利用方法 ２．居宅介護サービス ３．施設サービス ４．障害者支援サービス	・人間の生活が環境とどのような関係性を持つか理解し、バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方をとおし、高齢者や障害者を含めより多くの人が快適に生活をするための方法について考察する。	中間考査 期末考査
3学期		高齢者の生活と介護 １．生活支援 ２．生活を支える介護 ３．介護過程	・高齢者の特徴や活動、認知症等の疾患を理解し、高齢者に対するより良い介護のあり方を学ぶ。また、基本的な生活支援の方法や技術を学ぶ。	学年末考査

6　学習上の留意点・アドバイス

介護職員初任者研修として授業を行います。（５月～３月）
・欠席した場合は補修を行います。
・研修終了後、修了評価テストを行います。合格点：７０点以上／１００点満点